

市民の願い実現を求めて230人 晴天の下で調布大集会

4月1日(土) 15:00から、調布駅前広場で開催した「市民の願い実現!調布大集会」は230人の市民が参加。今月行われる調布市議会議員選挙に向けて、「軍拡よりいのちと暮らしを!」「原発より再生可能エネルギーを!」「市民が主役の市政を!」とアピールしました。

岸田政権の「大軍拡・大增税」「原発推進」などの動きが加速した1月に、この暴走を食い止める行動を起こそうと呼びかけた「戦争はいよだ調布市民の会」に応じて、市民・各分野のみなさんが参集して実行委員会を結成。4月の市議選に向けて、悪政から市民を守る防波堤としての「調布市」をつくろうとアピールする行動を模索しました。実行委員会を重ね、コロナ禍のもとで「まちなかパレード」はムリでも、駅前で市民の願いをリレートークする企画をまとめ上げたものです。

詳細は後日報告しますが、今日は「速報」として、集会の様子を写真で紹介します。



